



# 防災のページ

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

自主防災組織の  
活動を紹介します

鹿沼自治会(会員38戸)は、自主防災組織「鹿沼自主防災会」を立ち上げて住民の防災意識の高揚に努めています。今年度は、発電機や投光器などの防災備品と、備品収納用の物置を整備しました。

発電機や投光器などの備品と、収納用の物置▷



一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の地域防災組織育成助成事業の助成金で実施されました。この事業は、同センターが宝くじの社会貢献広報事業として行っており、宝くじの受託事業収入を財源として、集会所やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりなどに対して助成しています。

## 鹿沼自主防災会はどんな取り組みをしていますか？

春や秋の祭り、環境整備活動など、自治会の活動の場を通じて、日ごろから地域住民の皆さんとの意思疎通を図っています。4年前の胆振東部地震の経験から、発生直後は「冷静さを保ち、慌てずに行動すること」を学びました。住民同士の声掛けはもちろん、普段から防災について心の準備をしておこうと話しています。

また、居住地域ごとに「助け合いチーム」を作り、どのグループが誰を見守り、ケアするのか決めていきます。年2回の防災訓練では、避難や自治会員の情報伝達について確認し、図上訓練では、一人暮らし宅の住宅の位置なども確認しています。

## 活動するうえで、課題などはありますか？

災害時の緊急連絡先を把握するうえで、個人情報取り扱いが難しいと感じています。個別にお宅を訪問し、趣旨を説明して信頼していただきながら緊急連絡先の名簿を作りました。名簿の適性管理に努めたいと思います。皆さんと共に育んできた信頼関係を大切にして、災害への備えを高めていきたいと思っています。

お話を聞いたのは

鹿沼自治会  
斉藤利春自治会長



## 胆振東部消防組合消防署厚真支署からのお知らせ

問い合わせ ☎27-7119

### 解体予定の建物を 募集しています



胆振東部消防組合消防署厚真支署は、訓練に使用する解体予定の建物を募集しています。実際の災害現場に近い環境の中で実践的な訓練をすることで、災害対応能力の向上や職員の育成を図ります。

協力いただける事業所や解体業者は、ご連絡をお願いします。

### ロゴマークが決定しました！

7月から募集していたロゴマークが決定しました。小学生から70代まで全国から数多く寄せられた素晴らしい作品の中から、札幌市の清原沙代さんの作品が選ばれました。

今後、シンボルマークとして活用します。たくさんのご応募ありがとうございました。



### デザインのコンセプト

厚真の「A」をベースに、左に胆振を表す「I」を配置することで、火災や災害などから守る「胆振東部の盾」のイメージを図案化しました。また、信頼や安心をブルーで表し、オレンジ色で力強さや情熱を表現しました。シンプルなデザインにすることで、使いやすく視認性が高くなるように工夫しました。